

品格教育の取り組みについて

品格教育とは、「何が正しくよいことであるかを学び、主体的に行動し、習慣化することを通して、人格を完成していく」である。

- 1 目的
 - ①よい行動について考え、実践させ、習慣化させることで、自律できる生徒を育てる。
 - ②望ましい人間関係を育み、支え合える学級集団を育成する。

- 2 実施方法
 - ①月初めに執行部が玄関・廊下・教室にポスターを掲示する。
 - ②月目標を受け、学級委員会が月曜日の朝の会で週目標を2つ提案する。
*目標は生徒指導上気になる点や人との係わりを考慮に入れて考える。
 - ③生徒は個人目標を1つ記入する。
 - ④月曜日帰りの会の1分間スピーチタイムで、個人の目標をペアで確認する。
 - ⑤金曜日の帰りの会で個人の反省を記入する。
*毎週金曜日の帰りの会では、ペアで各自の取り組みを発表しあい、代表で2名全体発表を行う。チャレンジシートも回収し、学年団でチェックする。(褒めることを意識する)
 - ⑥学級委員会は広報活動を行う。
 - ・月曜日の朝読書の時間での放送(学級委員会)
 - ・個人目標の紹介や実践発表(学級委員会)

3 月目標

4月 あいさつ	11月 健康・体力
5月 責任	12月 公正・公平
6月 思いやり	1月 やりぬく心
7月 公共心	2月 自主・自律
9月 創意工夫	3月 感謝
10月 根気	

